

広報 ただみ

11
2025 月号
No. 666
令和7年11月10日



今月の表紙

【河井継之助杯只見剣道大会】

町内外から多くの少年剣士が集まり、日頃の稽古の成果を発揮しました。

参加した剣士たちは、河井継之助の名を冠する大会に恥じない集中力と精神力を見せてくれました。
(関連記事：P10)

《特集》

只見町表彰式・道路除雪表彰式 … 2～3

うまいもんまつり開催 …… 4～5

《News&flash》 …… 6～7

《町の話》 …… 8～11



祝 令和7年度 只見町表彰式・道路除雪表彰式

令和7年度 只見町表彰式・道路除雪表彰式

長年の功績を称え表彰

「令和7年度只見町表彰式・道路除雪表彰式」が、10月23日に季の郷湯ら里で開催され、受賞者や関係者などが出席しました。

表彰式は、2年に1度開催しており、長年にわたり公共の福祉と町政の伸展に尽力され、その功績が町民の模範となる団体や町民の方を称える「只見町表彰」と、長年にわたり地域住民の生活や経済活動を支えるため昼夜を問わず献身的に除雪作業に取り組まれた方を称える「道路除雪表彰」を行っています。

今年度は、両表彰をあわせて47名（団体）の方が受賞されました。受賞された方々は次のとおりです。

只見町表彰

（順不同・敬称略）

特別功労表彰

○中野 大徳（叶津）

長年にわたり議会議員及び消防団幹部を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

○目黒 邦友（只見）

長年にわたり消防団長及び消防団幹部を務め住民福祉の向上、地方自治の伸展に貢献されました。

功労表彰

○島谷 裕彦（黒沢）

○目黒 祐紀（館ノ川）

○松永 孝一（只見）

○佐藤 隆一（上福井）

○菅家 亮（黒谷）

○山内 孝志（二軒在家）

長年にわたり消防団幹部を務め民生の安定向上に貢献されました。

○只見町文化協会

長年にわたり加盟団体の活動を助長し文化芸術の振興発展に貢献されました。

顕彰

○梁取 寅雄（大倉）

○株式会社タダミ（只見）

○明治安田生命保険相互会社

郡山支社坂下営業所

（会津坂下町）

只見町の振興発展を願い多額の寄附をされ町政の発展に貢献されました。



▲特別功労表彰を受賞された目黒邦友さん(左)と中野大徳さん(右)



▲善行表彰を受けた二十歳の会の皆さん(左)、道路除雪表彰を受けた事業者の皆さん(右)



○本名 正二(千葉県柏市)
只見町の振興発展を願う美術品の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

○上野 忍(叶津)

○須佐ひろみ(八木沢)

○馬場 金一(蒲生)

○佐藤 秀夫(十島)

○堀金 瞬(上福井)

○齋藤 昭彦(亀岡)

長年にわたり統計調査員を務め町政の発展に貢献されました。

善行表彰

○二十歳の会

只見町の振興発展を願う美術品の寄附をされ町政の発展に貢献されました。

永年勤続表彰

○鈴木 尚(只見)

○目黒 康弘(只見)

○鈴木 高宏(只見)

○五十嵐史也(八木沢)

○五十嵐広雄(只見)

○馬場 英弥(只見)

○五十嵐 淳(寄岩)

○長谷川清之(寄岩)

○渡部 文彦(下福井)

○小沼 守(上福井)

○滝沢 清(黒谷)

○酒井 和政(下福井)

○五十嵐敦彦(坂田)

○飯塚 雅則(坂田)

○梁取 正典(上福井)

○目黒 広信(塩ノ岐)

○横田登貴夫(大倉)

消防団員として30年以上にわたり在職し町民の生命財産の安全保護に貢献されました。

感謝状

○目黒 睦也(埼玉県川口市)

只見町の振興発展を願う複数回にわたり寄附をされ、町政の発展に貢献されました。

道路除雪表彰

(順不同)

除雪従事企業感謝状

○永洸建設株式会社(樺戸)

○株式会社

南会西部建設コーポレーション

南会津事業所(大倉)

○吉野建設株式会社(梁取)

○浅草建材株式会社(館ノ川)

○株式会社川合車輛(只見)

○有限会社ジオ・サイクル

(下福井)

○株式会社新国農園(只見)

○梁取板金有限会社(長浜)

○株式会社大吉板金(蒲生)

食べて! 見て! 楽しんで! うまいもんまつり 開催!



桐蔭学園によるミニ鉄道

「自然首都・只見 水の郷 うまいもんまつり」が10月4日、5日に開催され、キッチンカーや応援店を含め21店舗が「うまいもん」を提供した他、商工会員、只見町建設業協会、電源開発によるPRコーナーも設置されました。4日には、恒例となりつつある桐蔭学園(横浜市)の鉄道研究部による「ミニ只見線」乗車体験が行われ、子どもから大人までミニ只見線を楽しみました。今回のミニ只見線は、今年6月にJR只見線に初入線した観光列車「リゾートしらかみ撫」をミニ鉄道として再現し、運行しました。



開会のあいさつを述べた
目黒長一郎商工会長



商工会員PRブースを
訪れた子どもたち



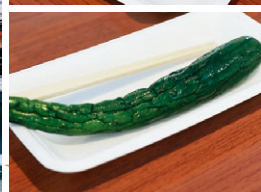
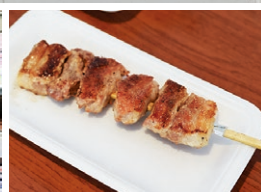
発電体験を行った電源開発ブース



はたらく車体験コーナーも
子どもから大人まで楽しめました



うまいもんに多くの人が舌鼓を打ちました



うまいもんまつりの会場を盛り上げてくださった皆さん



1日目のスタートは天領只見仙嶽太鼓の皆さんの力強い演奏からスタートしました



コーラスフルールが美しい歌声を届けてくれました



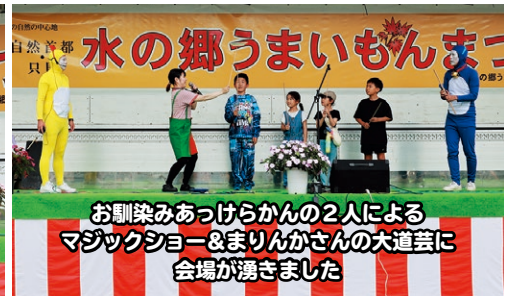
只見町ふるさと大使のシンガーソングライター宏菜さんもうまいもんまつりに駆け付けました



とよのみさこさんの歌声が会場を包み込みました



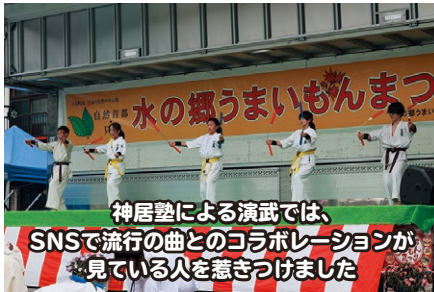
津軽の響きの皆さんは、素敵な音色を会場に響かせてくれました



お馴染みあっけらかんの2人によるマジックショー&まりんかさんの大道芸に会場が湧きました



只見つくし会、腫の会、はぎの会の皆さんが素敵な舞を披露されました



神居塾による演武では、SNSで流行の曲とのコラボレーションが見ている人を惹きつけました



一条真太さんがトークでも歌でも、会場を盛り上げました



只見音研ショーの演奏に来場者が聞き入っていました



只見町商工会青年部による「神輿」は町内外から多くの方が参加しました



来場者を魅了した「ようこそ只見へ」歓迎花火

包括協定を締結

一般社団法人日本ウオーキング協会（以下協会）と町は9月25日に包括協定を締結しました。

本協定では、「人と自然の共生」を伴った「まちづくり」の実現を目的に、

○日本のウオーキング愛好者を含めた人々に伝達・広報し、豊かな只見暮らしとの交流活動に貢献すること

○只見町の子どもの生きる力を醸成するため、首都圏を中心とした子どもたちとのスポーツ交流、自然科学交流の場づくりを企画推進すること

○子どもからシニア（100歳）まで自立できる健康環境の醸成に協力すること

などについて連携していくことが取り交わされました。

本協定により、協会のイベントやネットワークなどを利用した町の情報発信や、ノウハウを生かした町民の健康づくりなどの面において、協会と連携し、事業の企画・実施などを行っていきます。



▲日本ウオーキング協会の協力のもと、実施している只見ウォーク



▲ウェブ会議システムを通して協定を交わした日本ウオーキング協会井上成美専務理事(左)

三条市下田「かもしか病院」を視察

福祉の里検討会のメンバーは9月25日、三条市下田地域にある医療法人社団しただ及び社会福祉法人しただが運営する「かもしか病院」と介護施設等を視察しました。本視察は今後の医療、介護、福祉サービス見直しの参考とするために行われたもので、各施設の見学後には、法人職員と課題の共有及び八十里越開通後の協力体制や交流について意見を交わしました。

かもしか病院は、八十里越が開通すると只見町から約1時間で到着できる距離となり、只見町民の利用も可能な施設となります。

主に慢性期や終末期の患者が利用する120床の病院で、要介護認定を受けた高齢者が入所する60床の介護医療院が併設されています。病院から車で2分程の場所には、介護老人保健施設、特別養護老人ホームやケアハウスが開設されており、地域の高齢者が安心して生活できる環境が整っています。

医療面においては、医師や看護師が充足しており、只見町に比べ充実していますが、介護人材の確保は難しく、外国人職員の採用・育成など

を行っています。人口減少の影響もあり、施設入所者やサービスの利用者は減少傾向にあるなど、只見町同様の課題を抱えていることも分かりました。

福祉の里検討会は、町保健福祉課や朝日診療所、社会福祉協議会、社会福祉法人等の職員を中心に構成された会議体で、サービスの適正化や事業廃止が決まったあさくさホームの活用などを具体的に検討しています。今回の視察研修を踏まえて、只見町に無くてはならないサービス資源や空き施設の利活用案を年内にまとめる予定です。



▲施設の説明を受けるメンバーら

地域に寄り添う社会貢献 明治安田生命 「私の地元応援募金」

明治安田生命保険相互会社坂下営業所から町に、730,800円が寄附されました。

明治安田生命保険相互会社では、社会貢献運動「私の地元応援募金」を実施しており、今回はその事業の一環で、従業員から集まった募金に同社からの寄附金を合わせ、町に寄附されました。

目録を手渡した小菅所長は、「健康づくり活動等で地域の健康づくりへの関心を高めるなど、引き続き地元に着した貢献活動を行っていきたい」と話しました。

いただいた寄附は有効に活用いたします。ありがとうございました。



▲目録を手渡した小菅所長(右)

冬期でも安全な交通確保を目指して 県道小林・館の川線改良促進 期成同盟会が要望活動

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は、10月16日に南会津建設事務所や県庁、県議会を訪問し、県道小林・館の川線の整備促進についての要望書を提出しました。

当要望活動では、同県道が重要な生活路線であり、国道289号の代替性を有する路線でありながら、小林・亀岡間は未改良で落石の恐れや幅員が狭く、また熊倉・荒島間が雪崩のため冬期通行止めになってしまいうことから、それらに対する改良や整備を要望しています。



▲福島県議会の山田副議長(中央左)に要望書を手渡しました

1日も早い開通とその後を見据えて

国道289号線建設期成同盟会が要望活動

国道289号線建設期成同盟会は10月6日に福島県庁を訪問し、県の矢澤土木部長、佐藤副知事に要望書を提出しました。

要望書には、「令和8年秋から9年夏中に開通と示された期間内において1日も早い開通となるよう事業推進を図ること」や「災害時にも安定的かつ安全・円滑に利用可能な道路網を構築し、地域経済や住民生活を支える重要物流道路の重点整備を推進すること」などが盛り込まれています。



▲要望内容を県土木部長に伝える会員ら

なお、同期成同盟会は、沿線自治体の市町村長や議会議長らが会員となっており、要望当日は滝沢三条市長らも同席しました。



▲佐藤副知事(中央左)に要望書を手渡しました

臨時列車をみんなでお出迎え

「只見線全線運転再開 3 周年記念号」運行

只見線全線運転再開 3 周年を迎えた 10 月 1 日に、団体臨時列車「只見線全線運転再開 3 周年記念号」のキハ 110 系レトロラッピング車両が、JR 只見線会津若松駅から只見駅間を走りました。

当日の只見駅には町民や只見線ファンが集まり、お出迎え時には只見保育所の子どもたちが、お見送り時には只見小の児童が乗客に向けて手を振りました。乗客の皆さんは、子どもたちの手を振る姿に、手を振り返したり、写真を撮ったりするなど、只見線沿線住民の温かさを感じた 3 周年となりました。



▲お出迎えをした只見保育所の子どもたち

町議員として町政の発展に貢献

故 長谷川達海さんに「旭日単光章」伝達



▲勲記、勲章を受取った清之さん(中央左)と満枝さん(中央右)

元只見町議会議員で今年 7 月に死去した長谷川達海さんへの旭日単光章の伝達式が、10 月 7 日に自宅で行われました。

伝達式には、妻の満枝さんと次男の清之さんが出席し、南会津地方振興局の和田局長から、勲記と勲章が手渡され、満枝さんは「(達海さんが)叙勲受章を喜んでいると思う」と話しました。

長谷川達海さんは昭和 63 年から町議を 3 期務め、只見町の発展に貢献されました。

一緒につくる・食べる楽しさを学ぶ

「親子料理教室」実施

「親子料理教室」が 10 月 9 日に只見保育所で行われ、只見保育所、ぶなのもりこども園の園児と保護者らが参加しました。

今年度の料理教室は未満児クラスも実施され、ふたば・つくし組は、給食で出されるすいとん汁の食材の皮むきなどを行いました。以上児クラスの子どもたちは、同日夕方から開催の秋まつりで振舞われるカレーライスを作りました。

ママやパパ、おじいちゃん、おばあちゃんらと一緒に料理を作る子どもたちの笑顔溢れる 1 日となりました。



▲お家の人と食材の皮むきをする子どもたち

町内小中学校の児童生徒が学習の成果などを発表

町内小中学校学習発表会・文化祭 開催

町内3小学校の学習発表会は10月11日に各小学校で行われました。また只見中学校文化祭「紅葉祭」は19日に開催されました。

小学校の学習発表会では、体育や音楽の授業を通して学んだことを劇や演奏の形を通して発表しました。

中学校の文化祭「紅葉祭」では、英語弁論大会や総合的な学習の時間で学んだことの発表、有志生徒による発表が行われました。



▲明和小学校学習発表会の様子



▲只見中学校「紅葉祭」の様子

景色を楽しみながら、タスキを繋ぐ 只見町駅伝競走大会

「第59回只見町駅伝競走大会」は10月12日に開催され、会津若松市内の中学校など町内外から33チームが参加しました。今年は、町下庁舎前をスタート、只見駅前広場で折り返し、町下庁舎前でタスキを繋ぐ、1区あたり約2.2kmの周回コース（1区・6区は折り返し地点がスミタフォトニクス前で約2.6km）が設定され、総距離約14kmとなりました。

只見中学校3年生の目黒佑乃心さんと角田杏さんが開会式で選手宣誓を行い、午前9時30分にスタートの号砲が鳴らされると、選手が一斉に町下庁舎前をスタートしました。

各部門1位

部 門	部門1位チーム名
中学生男子	若松四中 駅伝部
中学生女子	只見中 駅伝部
一般男子	Runべ
男女混成	会津中央病院
一般女子	只見うるわし☆レディース



▲タスキを繋ぐ選手たち

少年剣士が竹刀を交える 「河井継之助杯」開催

只見町で最後を迎えた河井継之助の名を冠する剣道大会「第9回河井継之助杯只見剣道大会」が、10月13日に町民体育館を会場に開催されました。スポーツ少年団の保護者などが中心となり運営され、今回開催で9回目を迎えた本大会は、年々参加チームが増えており、会津地区や本宮市からの参加者を含む町内外約100人の少年剣士が日ごろの稽古の成果を競いました。

また、各団体の6年生は、試合後に只見町河井継之助記念館を見学し、戊辰戦争の歴史や河井継之助の生き方にも触れながら、剣道を通じて交流と学びを深めました。



▲間合いをはかり、打ち込む選手

和やかな雰囲気で親睦プレー 「只見町民親善ゴルフ大会」開催



▲緊張が高まるパットニングの瞬間を見守る皆さん

「只見町民親善ゴルフ大会」は、10月19日に会津高原たかつえカントリークラブで開催されました。中央公民館の主催で行われた本大会には、20代から70代まで幅広い世代が参加しました。当初40人だった申込枠を大きく上回り、約1.5倍となる62人が参加し、只見町内におけるゴルフ熱の高さが感じられました。

大会中は、終始和やかな雰囲気プレーを楽しみながら世代を超えた交流を楽しみました。

なお、結果は、優勝・横田雅則さん(大倉)、準優勝・河原田友成さん(只見)、3位・原田岩夫さん(黒谷)でした。

チーム一丸となり戦い抜きました 市町村対抗県野球・ソフトボール 結果報告会

市町村対抗福島県軟式野球及びソフトボールの只見町チームの結果報告会が10月23日に役場町下庁舎で行われました。

軟式野球チームは、1回戦の大玉村との試合で延長9回タイブレークの末に敗れました。

ソフトボールチームは、初戦の広野町と2回戦の相馬市に勝利しましたが、3回戦の二本松市に惜敗しました。

報告を受けた町長は「出場選手が町の代表として力を尽くし戦ったこと、また選手を支えた家族や職場、関係者の皆様に感謝したい」と述べました。



▲結果や来年度への課題、抱負を報告する両チーム

只見町の新米を味わう 「只見米フェス」 開催

只見米ブランド協議会主催の「只見米フェス」が10月25日に開催されました。

会場では、只見産米5銘柄食べ比べや、ただみ農家の嫁俱樂部によるつゆもちなどの提供が行われました。他にも只見高校2年生の総合的な探究の時間の新名物開発班、食アレルギー班による「米粉のスコーン」や「米粉の唐揚げ」など只見産米を活用した食品開発の試食が行われました。

また、農家有志によるバンド演奏などが行われ、来場者を楽しませました。



▲新米や米を原材料とした産品を味わう来場者で賑わう会場

この地で暮らす を見つめ直す

「只見町地域福祉講演会」開催

只見町地域福祉講演会は、10月12日に只見公民館で開催され、約90人が聴講しました。講師にNPO法人「どさんこ海外保健協力会」代表の榎戸健次郎さんを迎え、「この地で最後まで暮らしたい～北海道の経験から～」をテーマに講演が行われました。

榎戸さんは、現在活動しているネパールや、以前勤務されていた北海道での経験を交えながら、只見町で暮らし続けるために大切なことを解説されました。食の確保ができることや仕事をする（続ける）こと、保健、医療、福祉の連携などが重要であることを説き、また地域全体で支え合うことの意義を語りました。



▲自身の経験から、地域福祉について講演した榎戸さん

デジタルで発信 八十里越圏域の観光

「八十里越街道観光セミナー」開催

国道289号八十里越街道の開通を令和8年秋から令和9年夏に控え、「八十里越街道観光セミナー」が9月30日に季の郷湯ら里で開催されました。観光庁観光カリスマの山田桂一郎さんが会場でコーディネーターを務め、株式会社ユニットティ代表の永山卓也さんがオンラインで講師を務めました。

新潟県三条市、南会津町、只見町などに事業所を構える事業者らが参加し、開通後を見据えた地域の魅力発信や観光地づくりについて学びました。

永山さんは、グーグルビジネスプロフィールの整備や口コミの重要性を挙げ、デジタルを活用した情報発信力強化の必要性を説きました。



▲オンラインでのセミナーの様子

只見短歌会

令和七年十月詠草

猫じやらし嫌がらないで時折に風に踊れば笑顔になれり

目黒 富子

それぞれに事情違ひし仲間なり一つの事に集ふ楽しみ

関谷登美子

秋冷に温もり探す三歳児こたつに潜り息ほころばす

立花 奏音

窓開けて寝れば聞こゆるコホロギの声を飼ひ猫共に聞きをり

新国由紀子

オルゴールのやさし音色に目を閉じてしばし聞きあて癒されてをり

渡部ヨリ子

只見俳句会

十月定例会

秋うらら日向は少しひんやりと
パソコンはうんともすんとも芋の秋

都

仏壇に密談ありて長き夜
稲刈つて暮そめし道人帰る

味代子

シジミ蝶二匹離れず鎌の先
小豆殻まるき背中のかくるほど

一 恵

二階窓熊の出没見張り用
銀杏を都の妻に送る人

真理子

秋雲がふんわり浮ぶ風そよぎ
老いを知り老いを楽しみ秋を生き

睦 子

座敷の戸開けしままなる無月かな
老いもまた一歩くや秋の暮

恒 夫

心地よき風やよろこぶ児のあんよ
栗拾う友のかん声聞きながら

礼

手の甲の年寄ぼくろとろろ汁
菊花展始まる気配三の丸

修 一

秋時雨ダムの繁栄今は昔
行く道に覚悟ありしや曼珠沙華

信

今月のお知らせ

お知らせ

国立県営
宮城障害者職業能力開発校
令和8年度受講生募集

国立県営宮城障害者職業能力開発校では、次のとおり受講生を募集しています。
当校は、障害者を対象に職業訓練を実施している公共の能力開発校です。

【募集科名】

- ① Webデザイン科
- ② O A ビジネス科
- ③ 総合実務科

【募集定員】

- ① ② ③ …各10人

【訓練期間】

- ① ② ③ …

令和8年4月9日(木)～
令和9年3月10日(水)まで

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課		
町民税務係		☎82-5110
生活安全係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		
成年後見センター		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
交流推進課		
観光交流係	商工労働係	☎82-5240
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
只見保育所		☎82-2219
認定こども園		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230

税 今月の納期

11月25日までに

納めましょう

- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者保険料(4期)

・委任状

※会社から配布された名刺等をお持ちの場合は、法人関係者であることが確認できるため、委任状は不要です。

【その他】

納税証明書交付申請書や委任状の用紙は、福島県ホームページからの様式ダウンロード、または県税窓口にて受け取ることが可能です。

納税証明書申請についてご不明な点がございましたら、南会津地方振興局県税部までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

○南会津地方振興局県税部

☎ 0241-6215212

FAX 0241-6215219

E-mail: minamiaizu.kenzei@pref.fukushima.lg.jp

○福島県ホームページ

https://www.pref.fukushima.lg.jp/



学校HP

法人に関する県税納税証明書(一般用)の申請について

法人に関する県税納税証明書交付申請において、令和7年12月2日から、健康保険証は、身分確認書類として使用することはできません。申請の際には次に記載の確認書類をお持ちください。

【法人の代表者本人が申請する場合】

・マイナンバーカードもしくは運転免許証

転免許証

【代理人が申請する場合】

・マイナンバーカードもしくは運転免許証

ただみの今を支える人たち

有限会社さんべ農園

代表取締役

三瓶 陽太 さん



「ベ農園に入り、令和5年に父から代表を継ぎました」

——只見町で農業をやっていくことへの思いは？

「農業って、ただ作物を育てるだけじゃなくて、町の風景そのものを守る仕事だと思っんです。田んぼがあるから只見町らしい景色があるし、それを次の世代に残していく責任がある。だからこそ、続ける意味があると思っています」

——農業を次世代につなげるための取り組みは？

父三瓶清志さんからバトンを継ぎ、只見町の農業を未来へつなぐために奮闘する三瓶陽太さんにお話を伺いました。

——農業を始めたきっかけは？

「子どものころから農業には関心があ、り、大学も農学部に進みました。父から『戻るなら一度外も経験してこい』と言われていたこともあって、8年間JA全農福島に務めました。30歳の時に町へUターンして、さん

——地域との関わりは？

「『只見米ブランド協議会』という団体で『只見米フェス』を開催しています。新米の食比べや、只見高校生が考案した料理の試食など、町・農家・高校生が一緒につくるイベントです。町内の人には只見米のおいしさを再認識してもらいたいし、町外の人にも只見の魅力を伝えられたいと思っています」

——今後の目標について教えてください。

「農業は経験が大事って言われますけど、例えば米づくりは1年に1回しか経験できない。でも今は、その経験をデータとして残し活用できる技術が出てきています。やったことないから不安っていう人でも、データを基に農業ができる時代になってきている。只見町の農業を次世代につなぎ、50年、100年先まで続けていくために経験と実績を積み上げていきたいです。これからも、只見町の農業を未来につなげていきたいと思っています」

○有限会社さんべ農園

住所：只見町大倉田向19244
TEL: 0241-8612642
トマトや米の生産の他、自社生産物を素材とした、もち・青トマトジュース・米水あめ・チョコレートなどの販売も行う。販売品は季節物もあるため、要問合せ。

11月下旬～12月の

イベント情報

11月1日(土)～翌年2月28日(土)

「せど森の宴」

奥会津地域の各地で様々な体験型イベントが行われます。イベントごとに内容が異なりますので、詳細は「せど森の宴」公式WEBサイトをご覧ください。

【WEBサイト】

<https://okuzi-sedomori.com/>

(下記2次元コードからもアクセスできます)



【問合せ先】

株式会社SATORU

(TEL 050-1724-0621)

12月9日(火)、25日(木)

星空カフェ 要申込み

若者の集いの場を目的として、スポーツやゲームなど、みんなで楽しみませんか。詳細は明和公民館まで。

【時間】午後6時30分～

【場所】亀岡スポーツパーク内

【申込み】明和公民館 (TEL 0241-861211)

12月下旬

只見スキー場オープン

大自然の中の小さなスキー場。スキーやボードに限らず、雪国ならではの遊びや体験を満喫できます。

【住所】福島県南会津郡只見町只見字田ノ口24

【問合せ先】TEL 0241-8212304



町民の消息

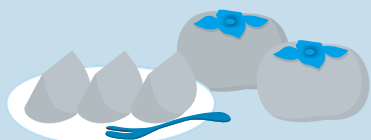
(9月26日～10月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

佐藤 末 (女ノ学・麻弥) 只 見

■おくやみ申し上げます

新 國	コナミ	95歳	只 見
横 山	傳	95歳	館ノ川
酒 井	博 正	89歳	坂 田
若 林	昭一郎	99歳	只 見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和7年10月1日現在

人 口	3,455 (-8)
男	1,723 (-9)
女	1,732 (+1)
世 帯 数	1,489 (-4)
高齢化率	48.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 6 出生 3 死亡 12

▽時代とともに、様々なモノの形が変わってきているのを感じています。広報紙においても、町の日々の出来事の掲載を通して、町の中で頑張ってくださっている人を応援したり、只見町での暮らしを感じてもらったり、「寄り添う広報紙」になれば良いなと考えております。デジタル化が進む中で、紙の温かさと一緒に町の「今」を感じてもらえたら嬉しいです。

▽朝晩の冷え込みが強くなり、体調を崩しやすい時期です。皆様も体調にはお気を付けてお過ごしください。

(小林)

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★マスカレード・ライフ



【著】東野圭吾 (集英社)

ホテル・コルテシア東京で開催されることになった、『日本推理小説新人賞』の選考会を舞台に新たな事件が始まる。

当日、文学賞受賞の候補者としてある死体遺棄事件の重要参考人が会場に現れるとの情報をもと

に、ホテルと警察の連携で捜査を進める。

警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に、新たな活躍をみせる最新作。

★パンどろぼうとスイーツおうじ

【著】柴田ケイコ (KADOKAWA)



スイーツおうじのスイーツおうじは、スイーツばかり食べてほかのものを食べません。

心配したおうひさまは、パンどろぼうに解決してほしいと、お城へまねきます。

それが気に入らないおうじは、あの手この手でパンどろぼうの行く手をはばみますが…。

迷路あり！？ 絵探しあり！？ こんなパンどろぼう見たことない！

過去最大密度でおとどけする、待望の最新作！

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。





再び冬を迎える万年雪



▲2024年8月22日撮影。
谷間に万年雪が確認できる。



▲2024年11月8日撮影。
万年雪が確認できない。

万年雪とは、降り積もった雪が谷に堆積し、夏になっても雪渓として残り、そのまま越年するものを言います。とけずに残り、再び降雪を迎える雪ということで、なんともロマンのある存在です。日本の万年雪は、北アルプス、三国山脈から東北地方の日本海側、北海道などで見られます。例えば、鳥海山、月山、飯豊山、越後駒ケ岳、荒沢岳、谷川岳などです。これらはいずれも豪雪地帯にあります。場所によっては観光名所にもなっています。只見町も同じ豪雪地帯ですが、万年雪が話題になることはありません。ところが、この只見町にも新潟県との境にある鬼が面山の東壁斜面下部の谷間に、万年雪があるのです。浅草岳の只見沢登山口から登山道を行き、剣ヶ峰のある尾根まで登るとその姿を望むことができます。この万年雪が位置する標高はわずか900mほどで、国内トップクラスの低標高にある万年雪です。豪雪が生み出した置き土産といったところでしょうか。

ところが、2024年にこの万年雪が消えてしまいました。2023-2024年の冬は積雪が少なく、夏も高温が続き、秋も気温が高かったのが消失の原因かもしれません。それでも、2025年は再び万年雪が復活しています。機会がありましたら只見町の万年雪を観察してみてください。

只見町ブナセンターからのお知らせ

JR只見線駅舎内のスペース「只見BAUM（バウム）」では、この秋に只見町認定こども園「ぶなのもりこども園」の年長さんたちと秋の自然体験を行う中で創作した秋の音を描いた作品を展示しています。お誘いあわせの上、子どもたちと只見の自然がコラボレーションした作品をご覧ください。